

## 付録A 各クライアントの機能差

Web クライアントと Windows クライアントの機能差は、以下のとおりです。

機能大分類	機能中分類	機能小分類	Web クライアント	Windows クライアント
基本機能	帳票作成	縦横集計表	○	○
		時系列集計表	○	○
		明細表	○	○
		ブレイク帳票	○	○
		Top10/Worst10 を示す帳票	○	○
		予算実績型帳票	○	○
		分布集計表	○	○
		マルチクロスレポート	×	○
		ABC 分析表	○	○
	問い合わせ	XML データへの問い合わせ	×	○※1
		データ項目一覧の絞り込み	○	○
		ヒント	○※2	○※2
		条件の無効化	○	○
		当年度の一時変更	○	○
		当日の一時変更	○	○
アラーム機能		×	○	
保存	問い合わせレイアウトの保存		○	○
	問い合わせ結果のダウンロード	HTML	○	○
		CSV	○	○
		Excel	○	○
		Lotus WK3	×	○
		タブ区切りテキスト	○	○
		罫線付きテキスト	○	○
桁揃えテキスト	×	○		
OLAP機能	ドリリング	ドリルステップ	○	○
		ドリルジャンプ	○	○
		ドリルディテイル	○	○
		ドリルバック	○	○
	スライス&ダイス	スライス	○	○
		ダイス	○	○

機能大分類	機能中分類	機能小分類	Web クライアント	Windows クライアント
OA ツール 連携	OA ツール連携	Excel	○	○
		Lotus1-2-3	×	○
		OASYS	×	○
		Word	×	○
エキス パート 向け 機能	二次加工分析	問い合わせ結果を個人のテーブルへ登録	×	○
		CSVを個人のテーブルへ登録	×	○
	イベントアナライザ		×	○
	スクリプティング		×	○
	クロスクエリ		○※3	○
	個人の管理ポイントの作成		×	○
その他	パーシャルテーブル		×	○
	メッセージ受信		×	○
	簡易集計		×	○

※1：Shunsaku と連携した場合に利用可能

※2：DBMS が Oracle の場合に利用可能

※3：問い合わせ実行時に、CSV 形式のファイルを条件に指定することが可能

## 付録B レポートを活用するための便利な機能のご紹介

作成したレポートの共有と、グラフ表示機能についてご紹介します。

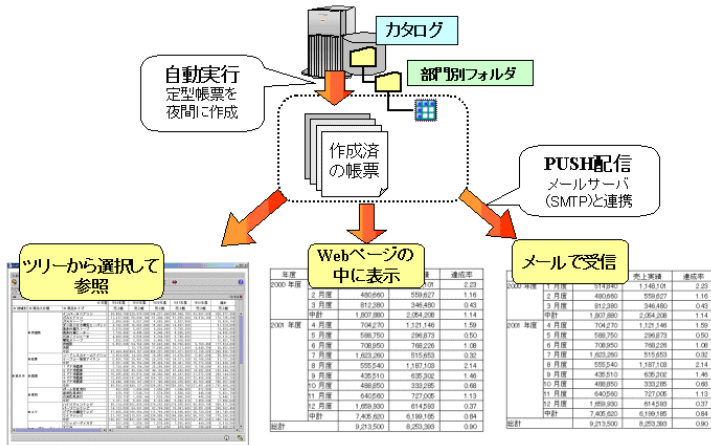
### B.1 作成したレポートを共有する

ここでは、作成したレポートを企業の部門内または全社で共有する方法を紹介します。

作成したレポートの情報は、個人によって必要とされる場合と、部門内・全社に共通して必要とされる場合があります。例えば、新商品の開発や顧客管理というように、マーケティングや企画などに幅広く活用できる情報が企業内にあふれています。これらの情報を部門間で共有すると、営業部門、開発部門などの現場で、直接リアルタイムに情報活用できるようになれば、セールス活動、マーケティング活動を大きく支援できます。

Navigator では、作成した問い合わせやその実行結果を共通（全社、部門など）に活用することができます。情報活用のすそ野を広げ、利用者を増やし、だれでもが必要な情報を最新の状態で取り出して、ビジネスの場に取り込むことが日常となれば、企業の競争力も飛躍的に高めることができるでしょう。

Navigator では、作成したレポートを Web ブラウザやメールなどを通じて幅広い利用者に公開できます。



## B.2 ビジュアルなグラフで表示する

Navigator で作成したレポートは、簡単にビジュアルなグラフで表示することができます。これは、株式会社富士通九州システムズが提供する Navi イントラエースという Navigator のアシストパッケージを利用することにより実現できます。

以下の例は、部門別の売上げ状況の問い合わせ結果と、結果を棒グラフ表示したものです。ボタンクリック操作のみでさまざまなグラフを表示できます。

